



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社リニカル
 コード番号 2183 URL <https://www.linical.com/ja/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秦野 和浩
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 高橋 明宏 TEL 06-6150-2582
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	2,626	△10.3	△104	—	△164	—	△176	—
2025年3月期第1四半期	2,926	△5.0	△66	—	△47	—	△82	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △204百万円 (—%) 2025年3月期第1四半期 287百万円 (△31.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△7.83	—
2025年3月期第1四半期	△3.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	15,220	6,687	43.9	296.07
2025年3月期	16,775	7,253	43.2	321.14

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 6,687百万円 2025年3月期 7,253百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	0.00	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,200	7.3	300	—	320	—	150	—	6.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	24,740,000株	2025年3月期	24,740,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	2,153,569株	2025年3月期	2,153,569株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	22,586,431株	2025年3月期1Q	22,586,436株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(収益認識関係の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

① 当第1四半期連結累計期間の経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、欧州、台湾が既存案件の契約変更や新規案件獲得により前年同期比で増収となりましたが、米国、韓国、日本、中国が前年同期比で減収となったことにより、連結の売上高は2,626百万円（前年同期比10.3%減）となりました。利益面では、欧州が前年同期比で増益、台湾、中国が営業黒字化しましたが、米国が前年同期比で減益、日本は営業赤字が縮小傾向にあるものの韓国とともに営業赤字となったことにより、104百万円の営業損失（前年同期は66百万円の営業損失）となりました。経常損失は為替差損の発生等により164百万円（前年同期は47百万円の経常損失）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は176百万円（前年同期は82百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、当社グループはセグメント区分を変更し、CRO事業の単一セグメントとなったため、セグメント別の記載をしておりません。

② 地域別の状況

日本においては、複数の大型既存案件の中止や期間短縮の契約変更が発生した影響により前期は大幅な減収となりましたが、現況は国内外の製薬会社から日本での大型案件を複数受託し受注状況は回復傾向にあります。しかしながら、当第1四半期ではそれらの売上高への寄与が部分的であること等から前年同期比では減収となりました。一方、利益面では、人件費や外注費が減少したことから営業赤字が縮小しました。日本ではドラッグ・ロスが深刻な社会課題となっており厳しい市場環境が続いていますが、欧米及びアジア事業と連携し海外企業への営業活動を継続することで受注を獲得し、受注状況についても回復傾向にあります。引き続き人員稼働率向上のための施策の遂行と経費の厳密な管理により業績改善に努めます。

米国においては、受注した業務が順調に進捗するとともに契約変更による売上増加もありましたが、追加作業発生による契約変更等で好調であった前年同期と比較すると減収となり、利益面でも減収に加え、外注費の増加等もあり減益となりました。なお、米国、欧州、豪州を含む複数の大型の国際共同治験の受注内諾を得て契約締結手続きを進めており、直近契約が完了したその一部は既に受注残高に計上され今後売上高に寄与するとともに、契約締結手続き中の残りの部分については今後受注残高及び売上高の増加に寄与する予定です。引き続き、有望な米国市場において既存顧客との取引拡大と有望なバイオテックからの新規案件獲得に注力し、持続的な成長を図ってまいります。

欧州においては、受注した業務が順調に進捗するとともに契約変更による売上増加もあり、前年同期比で増収増益となりました。引き続き受注拡大に向け米国等他拠点と連携し営業活動に注力するとともに、稼働率を高め収益改善に努めます。

韓国においては、前期に発生した医療ストライキが既存試験の進捗や新規案件の獲得に影響を残すとともに、複数の既存案件で顧客都合による中断が発生したことで、前年同期比で大幅な減収、営業赤字となりました。しかしながら、日本等の他拠点と連携し、ストライキ等国内情勢の影響を受けにくいデータサイエンス業務などで複数の新規案件の受託に成功しています。引き続き日本・アジア地域事業と連携し、国内外企業からの受注獲得に向け営業活動を進めてまいります。

中国においては、既存案件の終了に伴う売上減少等により前年同期比で減収となりましたが、原価低減等により営業黒字化しました。足元では日系中堅製薬企業の中国市場への関心が高まっており、引き続き営業活動を継続してまいります。

台湾においては、新規案件の獲得等により前年同期比で増収となり、利益面でも営業黒字化しました。国内外で開発を進める台湾バイオテック等から複数の新規案件を獲得しており、第2四半期以降でさらなる売上貢献を見込んでいます。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ1,555百万円（9.3%）減少し、15,220百万円となりました。これは、主に現金及び預金の減少によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ988百万円（10.4%）減少し、8,533百万円となりました。これは、主に前受金及び預り金の減少によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ566百万円（7.8%）減少し、6,687百万円となりました。これは、主に利益剰余金の減少によるものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,039,571	5,530,186
売掛金及び契約資産	2,774,194	2,622,748
前払費用	243,949	219,242
立替金	841,301	1,059,467
その他	763,363	784,318
貸倒引当金	△35,183	△34,096
流動資産合計	11,627,196	10,181,866
固定資産		
有形固定資産	395,396	389,089
無形固定資産		
のれん	3,144,985	2,999,763
その他	94,944	89,990
無形固定資産合計	3,239,929	3,089,754
投資その他の資産		
投資有価証券	272,500	288,466
長期前払費用	23,215	21,540
差入保証金	387,839	391,155
繰延税金資産	829,225	858,375
投資その他の資産合計	1,512,779	1,559,538
固定資産合計	5,148,106	5,038,382
資産合計	16,775,302	15,220,248

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	600,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	400,008	400,008
未払金	625,898	554,629
未払費用	296,258	338,173
未払法人税等	27,781	16,870
未払消費税等	3,105	50,123
前受金	2,420,387	2,050,394
預り金	2,755,857	2,314,702
賞与引当金	197,669	105,486
その他	150,247	130,496
流動負債合計	7,477,214	6,560,885
固定負債		
長期借入金	1,099,942	999,940
リース債務	228,044	221,015
退職給付に係る負債	693,219	727,443
その他	23,425	23,735
固定負債合計	2,044,630	1,972,134
負債合計	9,521,845	8,533,019
純資産の部		
株主資本		
資本金	214,043	214,043
利益剰余金	6,437,301	5,899,108
自己株式	△657,464	△657,464
株主資本合計	5,993,881	5,455,688
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,449	26,985
為替換算調整勘定	1,193,809	1,166,507
退職給付に係る調整累計額	41,317	38,047
その他の包括利益累計額合計	1,259,576	1,231,540
純資産合計	7,253,457	6,687,229
負債純資産合計	16,775,302	15,220,248

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	2,926,473	2,626,148
売上原価	2,202,142	1,917,203
売上総利益	724,331	708,944
販売費及び一般管理費	790,941	813,059
営業損失(△)	△66,610	△104,115
営業外収益		
受取利息	14,842	15,218
為替差益	8,581	—
投資有価証券評価益	—	12,869
営業外収益合計	23,423	28,088
営業外費用		
支払利息	4,253	5,347
為替差損	—	82,525
投資有価証券評価損	504	500
営業外費用合計	4,758	88,373
経常損失(△)	△47,945	△164,401
税金等調整前四半期純損失(△)	△47,945	△164,401
法人税、住民税及び事業税	74,796	53,550
法人税等調整額	△40,446	△41,141
法人税等合計	34,350	12,408
四半期純損失(△)	△82,295	△176,809
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△82,295	△176,809

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純損失(△)	△82,295	△176,809
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,632	2,536
為替換算調整勘定	365,258	△27,301
退職給付に係る調整額	△3,303	△3,269
その他の包括利益合計	369,587	△28,035
四半期包括利益	287,292	△204,845
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	287,292	△204,845

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

「当第1四半期連結累計期間(報告セグメントの変更等に関する事項)」に記載のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

当社グループは、CRO事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは、従来CRO事業と育葉事業の2つを報告セグメントとしておりましたが、当第1四半期連結会計期間よりCRO事業の単一セグメントに変更しております。

この変更は、2025年4月に実施した組織変更を機に、取締役会による経営資源配分の決定や業績評価の観点から報告セグメントについて再検討した結果、CRO事業の単一セグメントとすることが当社グループの意思決定プロセスをより適切に反映するものと判断したことによるものであります。

この変更により、前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	42,720千円	34,808千円
のれんの償却額	94,160	88,378

(収益認識関係の注記)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
日本	898,470	875,987
米国	1,041,936	811,036
欧州	746,199	754,894
アジア	239,866	184,229
顧客との契約から生じる収益	2,926,473	2,626,148
その他の収益	—	—
外部顧客への売上高	2,926,473	2,626,148

(注) 地域ごとの売上高は、サービスの提供地を基礎とし、国または地域に分類しております。